平成30年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名(個別メニュー)	外国人市民によるみちまちわいわいトーク		事業経緯	継続	実施体制	協賛	担当所属	高田支所
事業名 (大項目)	地域づくり活動促進事業	分類名 (中項目		地域連携:	交流促進支援事	事業	事業区分	講座、セミナー、育成

1. 事業目的

新潟県上越地区を訪れる外国人が年々増えるなか、自治体では2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、事前合宿地の誘致など訪日外国人の受け入れに力を入れている。

本事業は、上越、糸魚川両市の海沿いを走る全長32kmの久比岐自転車道について、今後さらに増えるであろう訪日外国人に利用しやすくするため、上越地区在住外国人との意見交換を通じて、インバウンド対応の検討に活かすことを目的に開催する。

2. 事業実施体制

主 催:NPO法人女性みちみらい上越協 替:(一社)北陸地域づくり協会

協力:国土交通省高田河川国道事務所、糸魚川国際交流協会、(公社)上越国際交流協会、久比岐自転車道魅力アップ実行委員会

3. 事業実施概要

日時:平成30年11月10日(土) 13:00~17:00

場所:久比岐自転車道(中宿駐輪場~道の駅能生)、能生マリンホール実施内容:

- ・現地調査(13:00~15:00) 実際に自転車道を走行し案内表示等を確認
- ・公開グループディスカッション(15:10~17:00) 現地調査、サイクリングマップ等について意見交換
- •参加者

ベトナム、アメリカ、フランス出身者 5名主催・協力団体スタッフ ほか

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

訪日外国人旅行者の増加に国を挙げて取り組みが進むなか、公共施設に対する在日外国人の生の声を聞くことができる貴重な機会となった。

自転車道を実際に走行しての意見や、久比岐自転車道魅力アップ実行委員会で作成中のインバウンド向け多言語マップに対する意見交換を実施でき、今後のインバウンド対策への活用が見込める有意義な事業となった。また、道路管理者だけでなく一般聴講者の参加もあり、地元の新聞社から取材を受けるなど活動を広くPRできた。



自転車道の現地確認







